



かいぼりをきっかけとした地域の活性化

都市的地域

とみき

富木地区環境保全協議会（兵庫県加古川市）

- 平成19年度に市の助言で地域の話し合いを行い、ため池や水利施設の保全のために非農家を巻き込んだ地域ぐるみの活動を開始。
- 毎年実施している「かいぼり」や地域内の清掃活動には、自治会、子供会、小学校、大学、企業等の多様な団体が参加し、多くの人が農村環境に親しむ機会を提供。
- 実践的な活動に加え、近隣のため池管理者や他の活動組織との意見交換会や地元の大学生との交流会を実施し、新聞等のメディアを通じて地域に周知されることで地域住民の参加意欲を高めている。

【地区概要】

- 取組面積9.7ha（田9.5ha、畑0.2ha）
 - 資源量
水路4.1km、農道 1.5km、
ため池 2箇所
 - 主な構成員
農業者、土地改良区、自治会、子供会等
 - 交付金 約0.8百万円(R1)
- 農地維持支払
資源向上支払(共同・長寿命化)

活動前の状況や課題

- ため池等の管理は農業者が実施してきたが、都市化や高齢化により参加者が減少し、負担が重荷に。
- かいぼり等も実施していたが、地域の非農家の関心は低く、参加者は少数であった。
- 施設の老朽化も進行する中で、活動の資金が不足し、補修が出来ない状態であった。



- 地域でため池管理をはじめとした地域農業について話し合い、交付金をため池のゲート補修費や日当などの活動費に充当し、非農家も巻き込んだ地域ぐるみの活動を開始。



ため池の全景

取組内容

- 活動組織が中心となり、非農家や大学生も参加するかいぼりを毎年開催している。
- かいぼりでは、捕獲した魚の実食体験等を通じて、家族連れ等の非農家の参画を促進。



ため池の草刈り



ため池のかいぼり

- ため池における地域や学校の環境学習会や清掃活動等、様々なイベントを開催。
- 地域農業の保全に資する活動について、近隣の活動組織や大学生との意見交換会を実施するとともに、それらの活動の広報を行っている。



幼稚園での環境学習



クリーンキャンペーンの様子

取組の効果

- 活動の広報を行うことで、地域住民へ取組内容を幅広く周知することが出来るようになり、非農業者の参画につながった。
- かいぼりは地元小学生が70人も参加した年もあるなど、地域住民も参画する大きな行事となり、地元の新聞で取り上げられた。
- 他の活動組織と交流会を実施することで各々の組織で抱える課題を共有し、かいぼり等イベントの地域住民の参画拡大やため池管理の効率化を図ることができた。
- 地域の魅力発見を目的に、活動に参加する大学生と地域の将来像について意見交換を実施。活動が新聞等のメディアに取り上げられることで、地域住民の参加意欲が高まった。



大学生との意見交換